

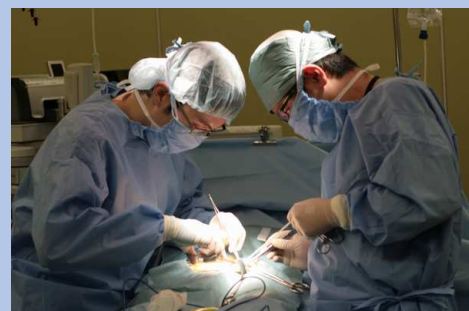


JCHO可児とうのう病院

研修医生活ご紹介

現在の研修について

- 〈1年次〉 上級医との敷居が低く、相談やコンサルトしやすいです。コメディカルの方々も優しいのでとても助かっています。
- 〈2年次〉 **（耳鼻咽喉科）** 当院の耳鼻咽喉科は常勤1名で、外来と術者1名で可能な手術を行っているため、基本的なことから学ぶことが出来ます。指導医が常に後ろに付いた状態で初診患者の診察、検査を行うため安心して耳鼻咽喉科疾患の考え方を学ぶことが出来ます。
- （麻酔科）** 高齢の患者が多いため、挿管困難症の頻度が高めです。そのため、麻酔科研修中に挿管ができるようになれば、大体の方への挿管が自信を持って可能になります。指導医が必ず隣に付き、何度もトライさせてもらえるため一定のレベルには問題なく到達できます。中心静脈ルートやAライン確保も頻繁に行うことが出来ます。当院の特徴として泌尿器科が積極的に手術を行っているため、脊髄くも膜下麻酔も多く経験できます。そのため外科系希望者はもちろん、内科系希望者でも髄膜採取等に應用できる技術が身に付きます。希望すれば呼吸器外科手術の片肺挿管や硬膜外麻酔など高度な内容も挑戦できます。



指導医

印象に残る研修科は？指導医はどんな感じですか？

- 様々な疾患について基礎から教えて頂けます。専門分野以外にも幅広く知識をお持ちであり、実臨床での経験に裏付けされていてとても勉強になっています。
- 大学病院に比べて医師数が少ないため上級医全員が研修員の顔と名前を把握しており、そのため普段から処置、手技の際に声をかけてもらえることが多いです。
- 麻酔科：**
初期から実践的に麻酔管理を任せて頂き、困った時には手厚くフォローして頂けたので早く身に付けることが出来た。救急専門医も所持しており、救急の指導もバッチリしていただける。



統括診療部長
(麻酔科)
洪 淳憲

・消化器内科：

実際に内視鏡を模型で練習した後、担当患者の検査をさせていただきました。自分で検査をしてそして診断、治療まで一連の流れを身に染みて体験させていただきました。



○ 救急カンファレンス

毎週水 朝7:50～
研修医が体験した救急搬送等の症例について検討します。

○ Morning seminar

毎週金 朝7:50～
各診療科医師が持ち回りで講師を務めています。

○ Journal Club

毎月最終金 朝7:50～
指導医の出した課題抄録（英文）について研修医が順番に担当となり抄読会を開催しています。



1日のスケジュール (1年次-内科)



7:00 起床・出勤
(自転車で10分)



8:30 業務開始
病棟回診
内科初診外来
処置
(NGチューブ挿入等)

12:30 昼食

14:00 救急対応
上司へコンサルト

15:00 担当患者へ治療等
指示出し

17:30 内科会
(担当患者について
上級医とディスカッション)

18:30 帰宅

0:00 就寝



指導医

協力病院での研修・体験談

【のぞみの丘ホスピタル（精神科）：美濃加茂市】

- ・ 児玉院長は、研修医やソーシャルワーカーの
とった事前問診を読んだだけでその患者および
家族など周辺環境の問題点を鋭く推測し、実際
に診察を行うとそれらがすべてピタリと当たっ
ています。経験を積み重ねたベテラン精神科医
の実力を知りました。

【JCHO若狭高浜病院（地域医療）：福井県】

- ・ へき地ならではの症例（釣り針が刺さった、
クラゲに刺された、溺れた、海岸で足を切った
…）など、当院では経験できない症例を丁寧に
教えて頂きました。

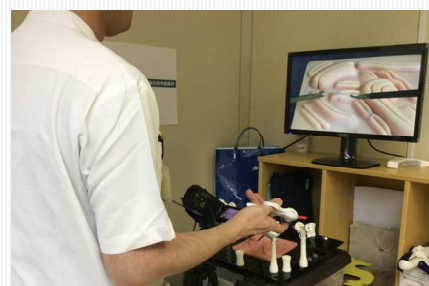
当院の研修について（1年次感想）

- ・ 1年間の研修を終えてある程度の common
disease が診れるくらいにはなれました。
専門課程に進む前に総合的な能力が身につ
けられると思います。



環境は？（研修医室・福利厚生）

- ・ 研修医室は個室で、いくつかの家電が揃っており
居心地が良いです。
和気あいあいと過ごしています。
- ・ 宿舎も広く病院からの補助もあるので安く借りら
れます。
- ・ 可児市は程よい田舎といった町で一通りの店も
揃っており不自由は全くありません。名古屋へも
電車で4, 50分とアクセス良好です。
- ・ 福利厚生が手厚く、妻がおりますが子が出来ても
安心です。



研修管理委員長より

- ・ 地域に密着した当院ではコモン的な疾患、救命救急から大病院では診られな
い珍しい病気まで最初から一例一例丁寧に診断、治療する機会が
得られます。
- ・ 研修は自主性を重んじており、出来る限り個々の希望に沿ったフレキシブル
なプログラムとなっております。

※月に一度開催される研修管理委員会にて研修の進捗状況を確認し、次の研修
科を選択することが出来ます。また、常勤のいない診療科についても応相談に
てグループ病院での研修が可能です。（例 JCHO中京病院(小児科等）：名古屋市）



副院長（血液内科）
伊藤 貴彦

2年間の研修を終えて



私は当初、希望していた研修病院にはアンマッチし慌てて二次募集病院を探し「可児とうのう病院」に出会いました。可児とうのう病院での研修はとにかく自由でやりたいことは何でもやらせてもらえます。そのため、自分が将来的に絶対必要、自分でできるようになっておきたいことを実際に習得可能です。十分にやれると判断されれば後期研修のレベルの内容や、学会発表など学術的内容も行えます。

今思えばマッチングでアンマッチして良かったと思います。

2年間思う存分に何事もやらせていただき、大変有意義な研修だったと感じています。



Japan Community Health care Organization